

移住・定住施策について



長野県 伊那市

令和7年7月1日調整

目 次

1	伊那市の概要	2
2	移住施策に係る計画について	3
(1)	移住・定住促進プログラム	3
(2)	シティプロモーション戦略	3
(3)	地方創生総合戦略	3
(4)	伊那地域定住自立圏共生ビジョン	3
3	移住・定住施策	4
(1)	施策の概要	4
(2)	いな住まいる補助金	5
(3)	空き家バンク制度	6
(4)	過疎地域定住促進補助金・田舎暮らしモデル地域補助金	9
(5)	田舎暮らしモデル地域	11
(6)	田舎暮らしモデルハウス(短期移住体験施設)	13
(7)	移住体験住宅(中期移住体験施設)	14
(8)	移住希望者向け仮住戸(移住準備の住宅支援)	14
(9)	移住準備住宅	15
(10)	田舎暮らし住宅、若者・子育て向け住宅	15
(11)	子育て住まいる(市営住宅の子育て支援)	15
(12)	結婚支援	16
(13)	集落支援員	17
(14)	地域おこし協力隊	20
4	情報発信について	23
(1)	プロモーション動画・テレビ番組	23
(2)	雑誌広告掲載	23
(3)	移住セミナー	24
(4)	移住体験ツアー	24
(5)	オンライン移住セミナー・ツアー	25
(6)	SMOUT(スマウト)	26
(7)	移住定住ガイドブック	27
(8)	伊那MRスクエア	28
(9)	伊那市版メタバース「イナの森」	28
(10)	地域の教科書	29
5	移住施策の効果	30

1 伊那市の概要

伊那市は、平成 18 年 3 月 31 日に伊那市・高遠町・長谷村が合併して新「伊那市」として誕生しました。

長野県の南部に位置し、南東側は南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、西側は中央アルプスを境に木曽地域に接しています。市域は 667.93 k m²で、松本市、長野市に次いで県下 3 番目の面積であり、その市域に、南アルプスと中央アルプスの 2 つのアルプスがそびえています。2 つのアルプスに抱かれた中央部には、標高約 600m の伊那盆地が開け、天竜川や三峰川、その支流を合わせて南下し、扇状地や河岸段丘が形成されており、その上段からは広大なパノラマが展開しています。

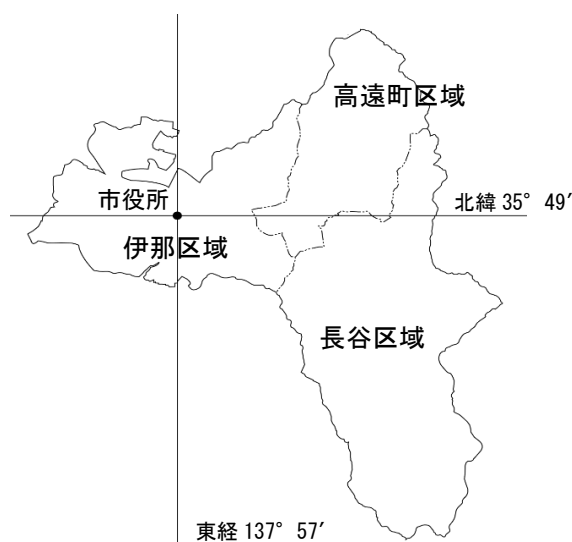
また、東部に南アルプス国立公園、三峰川水系県立公園を、西部に中央アルプス国立公園を有し、自然に恵まれた地域となっています。

気候は内陸的で、年間平均気温が約 11℃、年間の日照時間も長く、冷涼で住みよい環境にあります。

市の交通は、市の中央を J R 飯田線が走り、中央本線・東海道本線に連絡しています。道路では、平成 18 年 2 月に「権兵衛トンネル」が開通した国道 361 号を始め、国道 152 号、153 号及び県道が縦横に走り、東西・南北が結ばれ、交通の要衝となっています。また、西部には中央自動車道が南北に走り、伊那 I C に加え平成 29 年 9 月には小黒川 P A にスマート I C が開通しました。首都圏及び中京圏からもほぼ等距離にあり、位置的にも恵まれた地域です。

近年、食料品・機械器具・電子部品などの製造業が発展し、商業は上伊那地域の中心として成長しています。また、農業は恵まれた広大な農地を利用した伊那米や、野菜・花き・畜産の総合産地となっています。

上伊那地域の政治・文化・教育・経済・交通の中心地として、「未来を織りなす創造と循環のまち」伊那市のさらなる発展を目指しています。



総面積	667.93 k m ²
広ぼう	東西 37.2 k m、南北 44.7 k m
最高地	3,052 m (塩見岳東峰山頂)
最低地	590 m (東春近田原)
人口	64,607 人
人口密度	102.8 / k m ²
世帯数	28,883 世帯
市役所への最遠地区	高遠町 藤沢古屋敷 20 k m

※人口・世帯：令和 7 年 7 月 1 日現在

2 移住施策に係る計画について

(1) 移住・定住促進プログラム ⇒ 地方創生総合戦略へ踏襲

伊那市の人口は、平成 19 年をピークに減少に転じ、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）における人口推計でも、一層の人口減少が進むものと予想される中、人口減少傾向に歯止めをかけ、効果的で独自性のある施策を戦略的に展開し、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を図ることを目的に策定した。

【概要】

ア 策 定	平成 25 年 10 月
イ 計画期間	前期 平成 26 年度～平成 30 年度 / 後期 令和元年度～令和 5 年度
ウ 目 標	自然動態 1.60 前後(H18～H22 平均)→2.00 (R15) 社会動態 転入促進+転出抑制により、人口推計より年間 120 人の増加
エ 施 策	既存施策の充実+新規重点プロジェクトの展開

(2) シティプロモーション戦略 ⇒ 地方創生総合戦略へ踏襲

伊那市が市内外から選ばれるために、生活のあらゆる場面を想定し、市民や都市住民に対し、多様な媒体を通じて伊那市の魅力を発信することで、「伊那市で暮らしたい」という意識の醸成と行動を促し、定住の地として選ばれる地域に導く。

【概要】

ア 策 定	平成 26 年 11 月
イ 計画期間	平成 27 年度～令和元年度
ウ 目 標	市内 「郷土への誇り」、「愛着心」の向上による定住促進 市外 「知名度」「認知度」「好感度」の向上による移住者の獲得
エ 施 策	情報発信の強化+アクションプランの展開

(3) 地方創生総合戦略

若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、東京一極集中の是正、地域課題の解決により、住み良い環境を確保して将来にわたって活力ある社会を維持することを目指す。

ア 策 定	令和 7 年 3 月（第 3 期）
イ 計画期間	令和 7 年度～令和 11 年度
ウ 目 標	自然動態 1.44(H22)→2.07 (R32) 社会動態 転出超過 (H22:△718 人/年) →転入超過(R32:300 人/年)
エ 施 策	日本を支えるモデル地域構想～持続可能な地域社会の実現～

(4) 伊那地域定住自立圏共生ビジョン

経済や生活の結びつきが強い近隣自治体との連携を深めながら、「伊那地域定住自立圏」の形成を進め、将来にわたり地域住民が安心して暮らせる魅力的な地域づくりを目指す。

ア 策 定	令和 3 年 3 月（第 2 期）※第 3 版：令和 7 年 3 月改定
イ 計画期間	令和 3 年度～令和 7 年度
ウ 市 町 村	伊那市、箕輪町、南箕輪村
エ 主な施策	空き家バンク・子育て支援の連携、行政区域間縦断路線バスの運行等

3 移住・定住施策

(1) 施策の概要

① 移住支援



② 定住支援



(2) いな住まいる補助金

① 住宅の新築・取得等



若者世代の住宅の新築・取得に対して
最大150万円を補助します！

◇市内に新築・建て替え・建売 **25万円**(基本額)
 ◇居住誘導区域内に新築・建て替え・建売 **+25万円**(加 算)
 ◇土地の取得を伴う新築・建て替え・建売 **+50万円**(加 算)
 ◇市内に本店・支店または営業所がある
 業者で建築した新築・建て替え・建売 **+50万円**(加 算)

対象

- 45歳以下の者、45歳以下の配偶者を持つ者
または同居する中学生以下の子を持つ者
- 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること
- 令和5年4月以降に登記が完了している建物を所有している者

内 容	R5	R6	合 計
補助件数	92 件	145 件	237 件
世帯人数 (うち子ども)	284 人 (101 人)	459 人 (168 人)	743 人 (269 人)

② 宅地分譲補助金

- <補助対象>
- ・令和4年4月以降に事業者が開発し分譲された宅地
 - ・1区画150㎡以上で1区画以上の分譲(田舎暮らしモデル地域)
 - ・1区画200㎡以上で3区画以上の分譲(上記地域以外)
- <補助金額> 1区画あたり300,000円

内 容	R5	R6	合 計
補助区画数	43 区画	97 区画	140 区画

(3) 空き家バンク制度

① 制度の概要

伊那市では、空き家の利活用による移住・定住の促進を目的として「空き家バンク制度」を導入しています。空き家所有者の方（空き家を売りたい・貸したい、もしくはお悩みの方）、空き家を買いたい・借りたい方、まずは、お気軽にご相談ください。

空き家所有者

空き家を売りたい・貸したい人
に行ってください

① 登録申請
空き家バンク制度を利用したい方は、登録申込書等の申請書類を伊那市役所へご提出ください。

③ 物件調査（現地立会）
所有者の方にお立会いいただき、市役所担当者が間取りや家屋の状態の確認および聞き取り、写真撮影を行います。物件調査後、伊那不動産組合へ媒介契約締結の依頼を行います。

④ 媒介契約
伊那不動産組合加盟の担当不動産事業者から連絡が行き、売却価格または家賃等を決定し、媒介契約を結びます。

⑧ 売買・賃貸借契約
→空き家バンク成約報奨金申請
詳しくは裏面を参照ください

空き家バンク

伊那市役所の行うこと

② 申請書類審査
申請書類の内容確認および家屋図面調査等の後、物件調査の日程調整のご連絡をいたします。

③ 物件調査
所有者の方にお立会いいただき、市役所担当者が間取りや家屋の状態の確認および聞き取り、写真撮影を行います。物件調査後、伊那不動産組合へ媒介契約締結の依頼を行います。

④ 媒介契約
伊那不動産組合加盟の担当不動産事業者から連絡が行き、売却価格または家賃等を決定し、媒介契約を結びます。

**⑤ 空き家バンク登録
物件情報掲載**
媒介契約締結の連絡を受けて、空き家バンク登録が完了します。物件情報が、伊那地域空き家バンクホームページや伊那市移住・定住相談窓口Facebookページに掲載されます。

⑦ 現地案内・交渉
気になる物件があれば、担当不動産事業者に連絡し、必ず物件の見学（内覧）を行った上で売買もしくは賃貸借契約を行ってください。

⑧ 売買・賃貸借契約
→空き家バンク成約報奨金申請
詳しくは裏面を参照ください

利用希望者

空き家を買いたい・借りたい人
に行ってください

⑥ 物件の閲覧
伊那地域空き家バンクホームページやFacebookページにアクセスし、気になる物件がないか確認してみましょう。情報更新は不定期なので、マメな閲覧がおすすめです。




空き家バンクホームページ Facebookページ

⑦ 物件の見学
気になる物件があれば、担当不動産事業者に連絡し、必ず物件の見学（内覧）を行った上で売買もしくは賃貸借契約を行ってください。

⑧ 売買・賃貸借契約
売買あるいは賃貸借契約の締結と合わせ、空き家バンク利用申込を行います。

→空き家バンク利用促進補助金申請
詳しくは裏面を参照ください

お問い合わせ
伊那市役所 地域創造課
〒396-8617 長野県伊那市下新田3050番地
TEL 0265-78-4111 (内線 2253)

E-mail jkz@inacity.jp

H P <https://www.ina-akiyabank.jp>

Facebookページ <https://www.facebook.com/174akiyabank/>



伊那地域空き店舗バンクホームページオープンしました！
詳しくは、伊那市商工観光部 商工振興課 商業労政係までお問い合わせください。

<https://shop.ina-akiyabank.jp/>
TEL 0265-78-4111 (内線 2431・2432)

② 補助金の概要



伊那市では、空き家バンク登録物件の増改築工事や家財等の搬出・清掃に利用できる、

空き家所有者向けの補助金制度と、

空き家バンク登録物件を取得した際に利用できる、

利用者向けの補助金制度があります。

それぞれの補助金制度や要件等についてご紹介します。



空き家所有者向けの補助金制度



空き家バンク登録促進補助金

① 増改築等にかかる経費の10分の2

(最大 **75 万円**) を補助

② 家財等の搬出・清掃にかかる経費の

最大 **15 万円**までを補助

※申請期限は、空き家バンク登録申請日から3年以内です。
※補助金を受け取った日から、5年以内に当該物件を取り壊したり、担当不動産事業者以外での売買・賃貸契約が成立する等、空き家バンク制度の要件から外れた場合には、補助金を返還していただく場合があります。
※登録促進補助金は、事業開始前後の写真や見積書、領収書等が必要となります。補助金申請をお考えの方は、事業着手前にご相談いただくと安心です。

空き家バンク成約報奨金

③ 空き家バンク登録物件の**契約成立後**に

報奨金 **10 万円**を支給

※申請が必要です。申請期限は、空き家バンク登録物件の売買又は賃貸の契約後1年以内です。
※成約報奨金は、平成28年4月1日以降に登録された物件に適用されます。



利用者向けの補助金制度



空き家バンク利用促進補助金

● 右の要件のすべてに該当する方の**空き家バンク登録物件の取得や増改築**にかかる経費の10分の2

(最大 **75 万円**) を補助

※補助金を受け取った日から5年以内に当該物件から住所を有しなくなった場合、補助金を返還していただく場合があります。

※取得の場合は、取得から2年以内、増改築の場合は、事業着手前を原則とし、特別な事情があるときは、取得から3年以内を期限とします。

【要件】

- 1 空き家バンクに登録された物件を取得した者
- 2 当該物件に住所を有し、定住する意思が認められること
- 3 物件の所有権を有する者が15歳以上45歳以下の者、又は15歳以上45歳以下の配偶者を持つ者、又は同居する中学生以下の子を持つ者
- 4 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること

お問い合わせ

伊那市役所 地域創造課

〒396-8617 長野県伊那市下新田3050番地

E-mail j kz@inacity.jp H P <https://www.ina-akiyabank.jp>

TEL 0265-78-4111 (内線 2253)

Facebookページ <https://www.facebook.com/174akiyabank/>

③ 伊那地域空き家バンク

伊那市・箕輪町・南箕輪村では、空き家の有効活用を通して、都市住民等との交流の拡大と移住・定住促進による地域の活性化を図るため「空き家バンク制度」を運営しています。



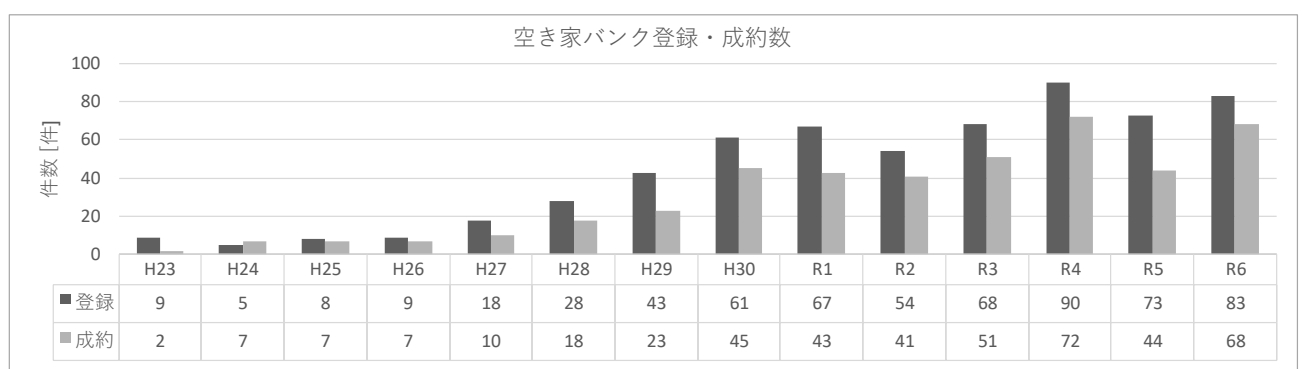
伊那地域空き家バンクホームページ（伊那地域定住自立圏：伊那市・箕輪町・南箕輪村）



☞ 空き家の総合相談会
年2回開催（8月・2月頃）



☞ 空き家スゴク
空き家カルタ



(4) 過疎地域定住促進補助金・田舎暮らしモデル地域補助金

① 過疎地域（高遠町区域、長谷区域）

伊那市過疎地域定住促進補助金

伊那市では、高遠町・長谷区域への、若者の定住等を促進し地域の活性化を図るため、伊那市過疎地域定住促進補助金等交付要綱に基づいて、予算の範囲内で次の補助金を交付しています。

【若者等(15歳以上45歳以下)を対象とする補助金】

- ◆**住宅新築等補助金**
若者等、若者等を配偶者に持つ者又は同居する中学生以下の子を持つ者が、定住のため対象地域に住宅の新築又は増改築を行う場合、その経費の10分の2以内で補助金を交付します。
- ◆**空き家取得等補助金**
若者等、若者等を配偶者に持つ者又は同居する中学生以下の子を持つ者が、定住のため対象地域の空き家の取得又は増改築を行う場合、その経費の10分の2以内で補助金を交付します。
- ◆**定住助成金**
若者等又は45歳以下の者を含む世帯の代表者で、Iターン又はUターンした者が、対象地域に住所を移し1年を経過した場合に対象となります。
- ◆**通勤助成金**
高遠町区域のうち三義地区及び長谷区域に居住する若者等が、高遠町・長谷区域以外の事業所に通勤し、通勤距離が片道10キロメートルを超える場合が対象となります。

【その他の補助金】

- ◆**出産祝金**
伊那市役所保健福祉部子育て支援課、高遠町総合支所市民福祉課、長谷総合支所市民福祉課のいずれかへお問い合わせください。
- ◆**廃屋取壊し事業補助金**
対象地域の廃屋の所有者が、廃屋を取り壊す事業に要する経費の10分の1以内を補助します。（廃屋とは、現に居住者がいない荒廃した住宅をいいます。）
- ◆**高等学校遠距離通学費補助金**
対象地域内に住所を有し、高遠高校以外の高校に通学する生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助します。



② 田舎暮らしモデル地域（新山地区、長谷溝口区、伊那西地区、手良地区）

田舎暮らしモデル地域補助金のご案内

伊那市では、移住・定住を促進し地域の活性化を図るため、移住・定住対策に積極的に取り組んでいる地域を「伊那市田舎暮らしモデル地域」に指定しています。現在4地域を指定し、移住・定住に対して補助金などを交付しています。



**住宅の新築、改修、
空き家の購入に**

最大 150万円補助

〈対象者〉世帯主か配偶者が45才以下又は中学生以下のお子さんのいる方
〈補助内容〉事業経費の10分の2以内

**出産祝い金を
第1子から支給**

伊那市内全域に拡充

第1子 **3万円**

第2子 **5万円**

第3子 **7万円**

第4子 **10万円**

〈対象〉出生時に住所があり、定住する意思が認められる方

<田舎暮らしモデル地域> 令和6年7月1日現在

- 新山地区（新山定住促進協議会）
- 長谷溝口区（溝口未来プロジェクト）
- 伊那西地区（伊那西地区を考える会）
- 手良地区（手良地区活性化促進会議）

**移住 or Uターン後の
1年間定住で**

1世帯最大 15万円助成

子ども1人につき2万円加算

〈対象〉世帯主か配偶者が45才以下又は中学生以下のお子さんがいる方
〈補助内容〉1世帯15万円（Uターン世帯10万円）
単身者7万円（Uターン5万円）

片道11キロ以上の通勤に

最大 6万円助成

〈対象者〉45才以下で、年間を通じて月の通勤日数が11日以上の方
〈補助内容〉1月5,000円を限度

区分	交付対象者(全てに該当する者に限る。)	対象事業及び交付額
住宅新築等補助金	(1) 若者等又は若者等を配偶者に持つ者並びに中学生以下の子を持つ者 (2) 対象地域において住宅の新築又は増改築を行い、かつ、対象地域に住所を有し、定住する意思が認められること。 (3) 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4) 新築又は増改築を行う住宅の所有権を有すること。	対象地域の住宅の新築又は増改築のいずれかを行う事業に要する経費の 10 分の2 以内(上限 150 万円)
空き家取得等補助金	(1) 若者等又は若者等を配偶者に持つ者並びに中学生以下の子を持つ者 (2) 対象地域の空き家の取得又は増改築を行った後、当該住宅に住所を有し、定住する意思が認められること。 (3) 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4) 取得又は増改築を行う住宅の所有権を有すること。ただし、増改築の場合は、賃借権又は使用借権を有する者を含むものとする。	対象地域の空き家の取得又は増改築のいずれかを行う事業に要する経費の 10 分の2以内(上限 150 万円)
定住助成金	(1) 若者等又は 45 歳以下の者を含む世帯の代表者 (2) IターンまたはUターンをした者が、対象地域に住所を有した後、1年を経過しており定住の意思が認められること。 (3) 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4) この助成金又は、同種の助成金の交付を受けていないこと。	(1) 1世帯につき 15 万円 (U ターン世帯は 10 万円) (2) 中学生以下の子ども1人につき2万円を加算 (3) 単身世帯又は単身者は 7万円(U ターンした単身世帯又は単身者は5万円)
通勤助成金	(1) 対象地域のうち高遠町三義地区、長谷区域及び田舎暮らしモデル地域に住所を有し、定住する意思が認められる若者等 (2) 高遠町・長谷区域及び田舎暮らしモデル地域以外の事業所等に就職し、通勤距離が片道 10 キロメートルを超えていること。 (3) 4月から翌年3月までの1年間を通じ、継続して通勤すること。	片道 10 kmを超える1km(1km未満の端数は切り捨て)につき、月額 300 円(1月につき上限 5,000 円)
出産祝金	子どもの出生時に対象地域に住所を有し、定住する意思がある保護者 ※令和5年度より市内全域に拡大	第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円、第4子以降1人につき 10 万円
廃屋取壊し事業補助金	対象地域の廃屋の所有者	対象地域の廃屋を取壊す事業に要する経費の 10 分の1 以内(上限 10 万円)

※若者等：15 歳以上 45 歳以下の者

(5) 田舎暮らしモデル地域

○目 的

移住・定住の促進を図るため、その受け皿として高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定し、地域、行政、民間事業者などの協働により、移住者に対する受入体制の整備や生活基盤の確立に向けた支援を行う。

○対象区域

人口減少及び過疎化の進行が見られ、移住・定住対策に積極的に取り組んでいる区域で、区の単位を原則とし、複数区にまたがる場合は、各区長を構成員に含む協議組織が設置されていること。

○指定の要件

- (1) 区又は協議組織の承認が得られていること。
- (2) 移住者からの様々な相談に応じ、助言や指導及び協力ができる人材がいること。
- (3) 地域活動において地域住民及び移住者がともに活動できる体制が整備されていること。
- (4) 地域住民自らの企画・運営により、都市との交流を目的とした事業や地域課題の解決に向けた事業を実施する意思があること。

○移住者の役割

- (1) 積極的に地域活動に参画し、地域貢献を行うこと。
- (2) 自らの田舎暮らしに係る情報を発信すること。

○地域住民の役割

- (1) 移住者の積極的な受入れを図ること。
- (2) 都市住民との交流促進や地域課題の解決を図ること。

○指定期間

10 年間（延長する場合あり）

○指定地域

- 【新山地区】 240 世帯 621 人（平成 27 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日）※R7 延長
・H28 に長野県移住モデル地域に指定（R2 更新）
- 【長谷溝口区】 150 世帯 383 人（平成 28 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）
- 【伊那西地区】 460 世帯 1,114 人（令和 3 年 7 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日）
- 【手良地区】 815 世帯 2,017 人（令和 6 年 7 月 1 日～令和 16 年 3 月 31 日）

○支援策

【住民】（過疎地域と同率・同額）※出産祝い金以外は若者等が対象

- ・住宅新築増改築補助金 事業費の 10 分の 2 以内（最大 150 万円）
- ・住宅取得補助金 事業費の 10 分の 2 以内（最大 150 万円）
- ・定住助成金 1 世帯 10～15 万円＋2 万円×中学生以下（単身 5～7 万円）
- ・通勤助成金 1 月あたり 10 km 以上 300 円/km（最大 5,000 円／月）

【団体】

- ・区又は協議会への交付金 50 万円／年

○新山地区（新山定住促進協議会）<https://niiyama.org/>



○長谷溝口区（溝口未来プロジェクト）

<http://blog.livedoor.jp/mizokuchimp/>



○伊那西地区（伊那西地区を考える会）

<https://ina-nishi.com/about/think>



○手良地区（手良地区活性化促進会議）<https://teranosato.jp/>



(6) 田舎暮らしモデルハウス (短期移住体験施設) ※最長3泊4日、4,000円/泊

田舎暮らしモデルハウスは 生活スタイルの変化に対応します。

吹き抜け部分に床板を張り、間仕切を追加することで、お子さんの成長や家族構成の変化など、希望に沿った柔軟な対応が可能です。

▼基本モデルプラン (お試し暮らし施設)

暮らしに必要な基本プランです。(夫婦・子ども1人の家族を想定)

▼子供たちが小さい時期

しだいに物が増え移動式の収納ユニットを増やし置も用意しました。

▼子供たちが学校に通う時期

収納ユニットを移動し、ドア・間仕切りユニットを利用して2階に子供室を用意しました。

▼子供たちも独立し、人生の第2ステージへ

客間を用意し友人を招いたり、ホール・書斎を利用し、田舎暮らしを満喫できます。

MAP

伊那IC 長野・塩尻方面
新山入口
三峰川
三峰川橋
三峰川橋南
上伊那森林組合
バイオマス工場
田舎暮らしモデルハウス
伊那市役所
伊那市富良野1777番地239
伊那市役所から車で約25分、13km
最寄りのスーパーマーケットまで車で約15分、9km
最寄りの入浴施設「さくらの湯」まで車で約20分、10km

田舎暮らしモデル地域

伊那市では、市内への移住・定住の促進を図るため、その受け皿として高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定しています。

モデルハウスが建っている新山地区は、「田舎暮らしモデル地域」第1号に指定されました。

地域の住民により、結成された「新山定住促進協議会」は、総務部会・子育て応援部会・田舎暮らしサポート部会・住まい整備部会を設け、新山地区での子育てや移住・定住をサポートしています。

お問い合わせ

■ お試し暮らしがしたい場合
伊那市役所 企画部 地域創造課
電話：0265-78-4111 (内線：2155, 2252)

■ 田舎暮らしモデルハウスを建てたい場合
伊那市役所 農林部 耕地林務課
電話：0265-78-4111 (内線：2416, 2417)

移住・定住応援サイト「伊那にむく」
<http://www.inacity.jp/iju/>

長野県伊那市 お試し暮らし施設 田舎暮らし モデルハウス

温もりと四季を感じる木の住まい

伊那市

木の香りが心地よく、 窓から見える森の変化で 四季を感じることができます

田舎暮らしモデルハウスは、地域の交流の場として利用するほか、田舎暮らしの機会創出と都市からの移住を促進するため、「お試し暮らし施設」として活用します。

お試し暮らしについて

- 宿泊期間は、原則3泊4日以内
- 利用料は1泊4,000円/1家族(9人まで)
- 寝具、洗面用具、食材などは各自で用意してください。
- 冷蔵庫、洗濯機、IHキッチン、食器類、WiFi等ご利用いただけます。

宿泊できる方

- ① 伊那市を移住候補地として検討している方
- ② 移住・定住相談窓口などにおいて、事前に移住相談を受けた方または、受ける予定のある方
- ③ 利用中に、モデルハウスが所在する地域の自治会行事などへ参加する意思がある方
- ④ 利用中に、モデルハウスを利用した行事に参加できる方

宿泊までの流れ

- ① 利用を希望する場合は、電話での仮予約をお願いします。
- ② 利用日の14日前までに、利用申込書をご記入のうえ、申込者の住所がわかる書類の写し(運転免許証又は住民票の写し)を添えて郵送にてお申し込みください。
- ③ 申込書の内容を確認後、決定通知を郵送します。
- ④ 利用当日は、地域創造課窓口でカギの引渡し及び詳細説明を受けてから利用を開始してください。

宿泊期間中の ● 保育園・小学校の見学 ● 空き家バンク登録物件の見学 ● 就職相談 など、ご不明な点はこちらにご相談ください。

利用者の声

● 愛知県在住のご家族

とても静かな環境なので、家族でゆっくり移住について話し合う時間が作れました。「住宅を新築して薪ストーブのある暮らしがしたい」と思っているため、利用期間中は、市内の空き土地を見て回り、また、薪ストーブの温もりや薪割りも体験できたので、利用前より生活のイメージが膨らみました。

● 埼玉県在住のご夫婦

滞在期間中は、移住相談窓口を訪れたほか、モデルハウスがある新山地区や移住後に入居予定の住宅周辺を探索しました。開放的なキッチンでは、地元産の新鮮な野菜を使って、楽しく料理ができたことや、さらに地域の方とも知り合うこともできたので、充実した時間を過ごすことができました。

地域材を使用し、 豊かな自然と森林の魅力を感じる居住空間

上伊那木村協同組合や上伊那森林組合がヒノキやアカマツ、スギ等を無駄なく使い分け、木の個性を最大限に活かしています。

薪ストーブ・ペレットストーブのある暮らし

伊那の国産材で作った薪や木質ペレットで暖をとる。地域の森林資源を地域で消費し循環させることで、環境に優しいエネルギーを生み出すことができます。ゆっくりと燃える薪ストーブの炎は、温もりだけでなく心にも安らぎを与えてくれます。

薪ストーブ：SBI ドロレ デコ
株式会社 DLD より寄贈

ペレットストーブ：山本製作所「ほのか」

モデルハウス仕様

平成27年12月完成
延べ床面積：2階建 79.5㎡ (24.0坪)
敷地面積：713.6㎡ (約215坪)
木材使用量：樺(ヒノキ) 4.6㎡
アカマツ 0.9㎡
杉(スギ) 12.9㎡

（７）移住体験住宅（中期移住体験施設）

移住・定住の促進及び関係人口の増加による地域活性化を図るため、移住希望者に一定期間伊那市での生活を体験いただく伊那市移住体験住宅を提供します。

- 施設名 移住体験住宅 1 号・2 号（伊那市山寺 2545 番地 9、10）
- 面 積 各 37.27 m²（1DK）
- 使用料 25,000 円（最長 29 泊 30 日）※光熱水費込み
- 設 備 家電、布団、自転車、ケーブルテレビ、Wi-Fi 完備
- 特 徴 中心市街地まで徒歩 10 分（市街地循環バスや鉄道の駅にも近く、車がなくても生活可能）



- 施設名 移住体験住宅 3 号・4 号（伊那市高遠町西高遠 486 番地 2）
- 面 積 各 61.56 m²（3DK）
- 使用料 30,000 円（最長 29 泊 30 日）※光熱水費込み
- 設 備 家電、布団、自転車、ケーブルテレビ、Wi-Fi 完備
- 特 徴 スーパー、コンビニまで徒歩 10 分（JR バス（高遠駅）も近く便利）
※別途：シーツクリーニング代、灯油代（冬季）



（８）移住希望者向け仮住戸（移住準備の住宅支援）

伊那市への移住・定住に向けた住まい確保や就職のための第一歩として、市営住宅を移住・定住準備のための仮住宅として 6 か月間家賃を半額で提供します。（仮住宅入居期間は原則として 1 年）

○主な物件



小原北住宅

（伊那市高遠町小原 593 番地 1）



ハイツ瀬戸

（伊那市高遠町小原 999 番地 1）



中島団地

（伊那市長谷溝口 790 番地 5 ほか）

○入居要件

- ・ 所得要件 前年度の所得が 104,001 円（1 か月あたり）以上の世帯
- ・ 住所要件 伊那市外に住所を有し、移住後当該地に住所を移せる者
- ・ 世帯要件 同居する親族がある世帯（世帯主が 45 歳以下の夫婦又は中学生以下の子がいる世帯）
- ・ 居住期間 原則 6 か月（敷金なし、退去修繕（畳の表替え、ハウスクリーニング等）入居者負担）
- ・ 家賃 月額 15,000 円～20,000 円（ハイツ瀬戸は共益費（月額 1,000 円）別途）
- ・ 納入時期 前月末日まで
- ・ 居住要件 地域の自治会に加入し、地域活動に参加できる者
- ・ 完納証明 前住所地で税などの滞納がない者
- ・ 保証人 1 名（3 親等以内の親族、住所は限定しない）

○その他

- ・家電などの設置なし ・光熱水費は入居者負担 ・駐車場あり（1 台分） ・ペット（犬、猫など）飼育不可

(9) 移住準備住宅

伊那市への移住・定住をご検討されている方で、主に伊那小学校・伊那西小学校・長谷小学校への通学を希望する世帯を対象に、移住準備住宅を提供します。

○入居資格

- ・ 住所要件 伊那市外に住所を有し、移住後当該地に住所を移せる者
- ・ 世帯要件 世帯主が 45 歳以下又は配偶者が 45 歳以下若しくは小学生以下の子がいる世帯
- ・ 居住期間 原則 1 年以内（やむを得ない事情等により最長 2 年以内）
- ・ 使用料 ますみヶ丘（A 棟・B 棟）、長谷（E 棟） 月額 15,000 円
山寺（C 棟・D 棟） 月額 20,000 円
- ・ 居住要件 地域の自治会に加入し、地域活動に参加できる者



(10) 田舎暮らし住宅、若者・子育て向け住宅

若い世代や子育て世代向けの住宅を整備し、定住に向けた支援を行っています。



田舎暮らし住宅

- ・ 3 棟
- ・ 2 LDK (67 m²)
- ・ 月額 25,000 円
- ・ 利用期間 2 年



若者・子育て 向け住宅

- ・ 1 棟 20 世帯
- ・ 2 LDK (60.8 m²)
- ・ 月額 50,000 円

(11) 子育て住まいる（市営住宅の子育て支援）

平成 28 年 4 月から、子育て世代の世帯を対象に、高遠町地区及び長谷地区並びに若宮にある市営住宅（中堅所得者層向け住宅）へ入居しやすく入居要件を緩和しました。また、入居後は家賃を軽減し、経済的な支援も行っています。

○入居資格の所得基準額の引き下げ

現在、入居を希望する世帯の人数により所得基準を決めていますが、入居する人数にかかわらず、世帯全員の前年の合計所得が 1,476,000 円を超えていることとします。

対 象 中学生以下のお子さんのいる世帯または入居者と同居者のいずれもが 40 歳未満の世帯

○家賃の軽減

対 象 中学生以下のお子さんのいる世帯

軽 減 額 通常の月額家賃を 2 割軽減

軽減期間 令和 9 年 3 月まで、または末子が中学校を卒業するまでのどちらかの短い期間

○その他

すでに該当する住宅に入居している夫婦のみの世帯にお子さんの出生があった場合も家賃軽減の対象となりますので、異動届を提出してください。（異動届の提出があった翌月から軽減します。）

(12) 結婚支援

伊那市は行政が行う結婚相談窓口として「いなし出会いサポートセンター」を設置し、2名の相談員と1名の集落支援員（であいサポーター）を配置し、結婚相談や縁結びの支援をしています。

また、結婚に伴い新たな生活を始める世帯の経済的な不安を軽減し、若い世代の定住促進と少子化対策の強化を図るため、住居費やリフォーム費用、引越費用の一部を支援しています。

さらに、移住婚活を導入し、利用者の多様なニーズに寄り添った支援を行っています。

○ いなし出会いサポートセンター

- 対 象 ・ 伊那市にお住まい（住民票がある方）または勤務する 20 歳以上の独身者
・ 市外在住者であっても結婚後、伊那市に定住する意思のある 20 歳以上の独身者
- 登録料 無料
- 開所日時 ・ 火曜日・木曜日
午前 10 時から午後 4 時まで
・ 土曜日
午前 9 時から午後 5 時まで
※祝日及び年末年始休業を除く
- 場 所 いなし出会いサポートセンター
(伊那市荒井 3417 番地 2)



○ 結婚新生活支援事業

- 対象となる費用
- ・ 住宅取得または建築工事に要した費用
 - ・ 住宅の賃借に要した費用
(賃料、共益費、敷金、礼金、仲介手数料等)
 - ・ 住宅のリフォーム工事に要した費用
 - ・ 引越に要した費用
(引越事業者や運送事業者を支払った費用)
- 補助額
- ・ 夫婦ともに 29 歳以下の世帯 最大 60 万円
 - ・ 夫婦ともに 39 歳以下の世帯 最大 30 万円



内 容	R5	R6	合 計
住宅費用（家賃等）	11 件	14 件	25 件
リフォーム費用	0 件	1 件	1 件
引越費用	1 件	1 件	2 件

○ 移住婚

都市部からの移住者を増やし、若い世代の成婚に繋げていくことを目的に、令和 6 年度から独身の移住希望者の結婚相談を行う「移住婚」支援を開始

(13) 集落支援員・地域おこし協力隊

集落支援員【18名】

ミッション名	業務概要	氏 名	活動内容
交通・物流 コラボレーター (H31. 4. 1～) 企画政策課	新産業技術を活用した交通・ 物流のボランティアネット ワークと物流の仕組づくり	 いとう さゆり 伊藤 小百合	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン物流事業化に関する支援 ・ICT の活用・普及に向けた支援 ・AI 最適運行・自動配車サービス事業化に関する支援 ・その他新産業技術による集落支援
仕事と住まいの コーディネーター (R3. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析による具体的な政策展開 ・空き家の利活用の促進 ・空き家バンク制度の推進 	 こぶち ゆきてる 小淵 幸輝	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析による具体的な人口増加に向けた政策展開 ・空き家バンク情報発信及び案内 ・不動産業者との連絡調整 ・空き家利用希望者との連絡調整
行政サービス 支援員 (R3. 12. 1～) 企画政策課	モバイル市役所を活用し、 市民に寄り添いながら行政 手続等の案内やサポート	 かねこ はるみ 兼子 はるみ	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる行政手続等の案内やサポート ・選挙時の移動期日前投票所の開設支援 ・マイナンバーカードの普及促進活動 ・その他新産業技術による集落支援
移住・定住 コーディネーター (R4. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住に向けた総合的な相談 ・セミナー・イベント等の開催や情報発信 ・地域おこし協力隊のマネジメント 	 ふじい かおり 藤井 香織	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしモデル地域との連携 ・移住・定住相談 ・移住・定住セミナー等の企画、実施 ・地域おこし協力隊員の活動状況把握、協力体制の構築 など
行政サービス 支援員 (R4. 4. 1～) 企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル公民館を活用した高齢者や外出機会が少ない方の交流機会の創出 ・地域福祉の増進 	 みやした ともみ 宮下 智美	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル公民館開設に向けた調整・企画 ・その他新産業技術による集落支援
長谷地域 農業連携支援員 (R4. 4. 1～) 長谷農林建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷地域の農業と直売所、小中学校との連携 ・外部人材の活用による地域振興 ・長谷さんさん協議会の事務局運営 	 かすが ゆりえ 春日 友理枝	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷地域の農業と直売所、小中学校との連携および外部人材の活用 ・長谷さんさん協議会事務局 ・営農組合と道の駅直売所との連携調整 ・農業関係交付金の申請補助

ミッション名	業務概要	氏 名	活動内容
デジタルローカル デザイナー (R4. 11. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の情報リテラシーの把握、検証 ・オープンデータの活用による行政サービスの改善や市民サービスの支援 	 もろた かずゆき 諸田 和 幸	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の情報リテラシーの現状把握による工場施策の考案・実施 ・デジタル行政サービスツールの運用・改善 ・オープンデータ利活用による市民サービスの支援
地域ブランド推進 デザイナー (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光や文化など魅力あるコンテンツの集約 ・地域ブランドのコンセプト形成、推進 	 たかはし たかふみ 高 橋 隆 文	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光や文化などのコンテンツ集約及び関係機関との連携 ・地域ブランドのコンセプトの形成、推進 ・郷土愛や地域住民の一体感の醸成に関連したセミナー等の開催やイベント等への参加
観光 MaaS 推進 ディレクター (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・観光型 MaaS のサービス構築のための観光関係者等との連携 ・地域住民、地元企業等への情報収集 	 ひらやま ゆうき 平 山 雄 貴	<ul style="list-style-type: none"> ・観光型 MaaS のサービス構築 ・観光関係者との連携（交通、商店、旅館など）による魅力創出 ・地元企業との連携による求人等の情報収集
であいサポーター (R6. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・移住婚の推進による出会いの機会の創出 ・婚活イベント企画運営 ・移住定住の促進や関係人口創出による結婚事業の推進 	 ももせ ゆかり 百瀬 由香里	<ul style="list-style-type: none"> ・移住婚の推進 ・オンライン相談等による利用者の利便性向上や窓口機能・支援体制の強化 ・イベント企画運営、情報発信
有機給食 コーディネーター (R6. 4. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食へ有機食材を導入するための支援 ・東部地域農業振興センター支援 ・中山間地農業推進対策支援 	 みやけ のどか 三宅 のどか	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への有機食材導入にあたっての関連団体との連携、調整 ・東部地域農業振興センター支援
多文化共生推進 (R6. 4. 1～) 文化交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の充実 ・外国人コミュニティと地域住民との連携 ・外国人住民との交流の場の創出 	 うとなん しーり さ 宇戸ナンシー理沙	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる日本語教室との連携・協力 ・災害発生時の支援方法の検討 ・ホームページや情報発信サイト、SNS等を活用した情報発信

ミッション名	業務概要	氏 名	活動内容
新しいまちづくり コーディネーター (R6. 7. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、活動団体、地元企業、市民等との連携による新しいまちづくりの推進 ・新しいまちづくりに関する多様な意見の集約 ・まちづくりに関連したイベントの開催・支援 	 まさかね りょうこ 政 金 僚 子	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいまちづくりに関する多様な意見の集約 ・まちづくりに関連したイベントの開催・支援 ・まちづくりに関連した事業との連携
フィンランド 森と学び コーディネーター (R6. 9. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド関係機関と市活動団体、企業、市民、大学、研究機関等の連携推進 ・多様な意見及び情報集約・整理、連絡調整 ・産学官民の協業発掘、連携可能性創出及び具現化に向けた支援 	 ひらかわ まなみ 平 川 真奈美	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド関係機関と伊那市の各種団体・機関等における連携の推進 ・多様な意見及び情報集約・整理、連絡調整、英語通訳 ・各種事業等との共創及び連携、イベント開催 など
自治会 コーディネーター (R7. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会のあり方を再確認 ・役職の統廃合 ・地域の特性に応じた自治会への洗い出し ・組織再編及び持続可能な組織づくり 	 はしづめ ひろお 橋 爪 洋 郎	令和 7 年度採用
シェアリング エコノミー コーディネーター (R7. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングエコノミー意識醸成による人、コト、モノなどを活用した地域課題解決や魅力創出のためのリアルな場づくり ・「こころむすび」の活用・普及促進 など 	 おがわ あゆみ 小 川 歩	令和 7 年度採用
デジタル シティズンシップ 教育 (R7. 4. 1～) 教育環境整備課	ICT 活用による社会幸福実現を目指す概念であるデジタルシティズンシップ教育の推進	 あさり ふみ 浅 利 芙 美	令和 7 年度採用
教育移住支援員 (R7. 5. 15～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・教育移住に対応するための学校・保育園見学や相談体制の充実 ・学校や地域との連携・支援 	 からさわ しげる 唐 澤 茂	令和 7 年度採用

地域おこし協力隊【21名】

(令和7年4月末までに34名が卒隊し24名が定住)

ミッション名	業務概要	氏名	主な活動内容
伊那谷農林産物 イノベーター 【市内全域】 (R5. 1. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> 伊那谷地域の農林産物を有効活用した商品開発 高品質な農林産物PR、ブランド化の推進 	 つくだ なつこ 佃 夏子	<ul style="list-style-type: none"> 農林産物を有効活用した新たな商品の開発 農林産物のPR、ブランド化推進 未利用農林産物の活用による価値の創造
新山地域応援 サポーター 【新山地域】 (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 新山地域応援事業の推進 田舎暮らしモデル地域事業の支援 地元等との連携による地域活性化 	 よしだ ももか 吉田 百花	<ul style="list-style-type: none"> 田舎暮らしモデル地域の支援や移住・定住の支援 地元や保育園、小学校等との連携による地域活性化に向けた活動 田舎暮らしモデルハウスの活用や管理
つながり人口 クリエイター 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとワーキングホリデーの推進効果検証 若者と地域の接点づくりと地域への愛着醸成支援 	 なかむすん 南 淳	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとワーキングホリデー推進及び効果検証 若者と地域との接点づくりによる地域への愛着醸成支援 若者と地元企業を繋ぐ機会の創出や魅力発信
伊那から減らそう CO ₂ !! 促進 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 生活環境課	市民に向けた脱炭素の取組促進や、二酸化炭素排出削減に向けた情報発信	 はやし ようこ 林 耀子	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業を中心に事業者の脱炭素の取組促進 市民に向けた脱炭素の取り組み促進 二酸化炭素排出削減に向けた各種情報発信
古文書のデジタル化 及び活用 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 市内に保存されている古文書等の整理・収集 デジタル化・解説 伊那市の歴史や文化の魅力発信 	 まえだ かずひろ 前田 和弘	<ul style="list-style-type: none"> 市内に保存されている古文書等の整理・収集やデジタル化解読 整理済の古文書の公開、閲覧の対応 デジタル化した資料を活用したイベント、講座等の企画、実施
Inadani sees 森のインキュベーター 【市内全域】 (R5. 9. 1～) 50年の森林推進課	<ul style="list-style-type: none"> Inadani seesの企画・運営 起業支援サポート 企業精神を育てるイベントの企画・運営 	 つくだ りな 塚田 里菜	<ul style="list-style-type: none"> Inadani seesの企画・運営や起業支援サポート 地域の林業、木材産業の振興、人材育成 林業、木材産業と福祉分野等異業種とのマッチング
みはらしファーム活性化 プロジェクト 【西箕輪】 (R6. 4. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> みはらしファームの運営管理やイベント企画 はびろ農業公園管理組合構成団体との連携 	 ももい やえ 桃井 八重	<ul style="list-style-type: none"> みはらしファーム全体の運営管理 企画・営業（インバウンド誘致）、イベントの主催と運営管理 はびろ農業公園管理組合構成団体との連携

ミッション名	業務概要	氏 名	主な活動内容
高遠石工まちづくり 研究員 【市内全域】 (R6. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠石工研究センターの広報 ・高遠石工等を活用した経済効果を高める取組 	 やまもと ゆうすけ 山本 祐介	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠石工に関する広報情報の整備等 ・高遠石工等やその石造物を活用した経済効果を高める取組 ・市や市観光協会の高遠石工事業支援
未来の教育 コーディネーター 【市内全域】 (R6. 4. 1～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド教育の研究や学べる機会の創出 ・フィンランドの教員や子どもとの交流の場の創出 	 やまもと かざね 山本 風音	<ul style="list-style-type: none"> ・森と学びの実践 ・子どもの学びをより豊かにするためのフィンランド教育の研究 ・フィンランドの子どもたちとの交流の場の創出
信州そばNo.1 プロジェクト 【市内全域】 (R6. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・信州そばNo.1 プロジェクトの推進 ・団体等との連携を深めたそばの普及活動・情報発信 	 しもだいら あやか 下平 彩楓	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州そば No. 1 プロジェクト」の取組を踏まえて、地域事業者や団体との連携及びプロジェクトの推進 ・教育機関における探究学習（活動）と協働した地域の人材育成
南アルプス北部 登山道保全プロジェクト 【南アルプス北部】 (R6. 4. 1～) 南アルプス課	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス北部の登山道整備 ・自然保護活動へのマインド・ノウハウの継承 など 	 ひらの りょう 平野 僚	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス北部の登山道整備、自然保護活動へのマインド・ノウハウの継承 ・登山者参加型の登山道整備イベント企画・実施等による啓発活動 ・SNS 等によるタイムリーな情報発信
南アルプス山と人の コミュニケーター 【高遠町・長谷】 (R6. 4. 1～) 南アルプス課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民協働によるイベント、体験プログラムの運営 ・グッズやコラボ商品の開発 など 	 のだ なおこ 野田 直子	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 等による南アルプス等の情報発信 ・子どもたちが南アルプスの恵みを体験できるプログラムの企画・運営 ・南アルプスの関連グッズ、コラボレーション商品の開発、デザイン、販売
農家民泊プランナー 【市内全域】 (R7. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行事業のPRや受入 ・受入農家間の交流促進や開業支援等 	 きたう すみこ 佐藤 純子	令和 7 年度採用
伊那谷 FC 魅力発信 コーディネーター 【市内全域】 (R7. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地誘致や受入に関する全般業務 ・フィルムコミッション及びシティプロモーション事業 	 あべ まりか 安部 まりか	令和 7 年度採用
高遠エコツーリズム コンダクター 【高遠町】 (R7. 4. 1～) 高遠商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠の観光コンテンツのブラッシュアップ ・滞在型・通年観光の実現 など 	 さかの しほり 坂野 志穂梨	令和 7 年度採用

ミッション名	業務概要	氏 名	主な活動内容
スポーツ文化芸術 振興コーディネーター 【市内全域】 (R7. 4. 1～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校部活動の地域移行の推進 ・ スポーツ・文化芸術振興による地域活性化や機会の創出 	 うみの みう 海野 未羽	令和 7 年度採用
森林（もり）のマッチング コーディネーター 【市内全域】 (R7. 4. 1～) 50 年の森林推進課	森林整備・保全活動等を検討している企業や自治体等と市内の森林のマッチングによる森林整備の推進	 やない まゆみ 柳井 麻友美	令和 7 年度採用
森の学び推進 コーディネーター 【市内全域】 (R7. 6. 1～) 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森を活用した学び実践プログラム ・ 森を活用した学びによる多世代交流 	 ときわ みのり 常盤 みのり	令和 7 年度採用
子どもの学び応援 ～IT インフラ整備～ 【市内全域】 (R7. 6. 1～) 教育環境整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内 ICT の環境向上と人材教育 ・ 地域情報機器・ネットワーク人材育成 	 まえだ せいや 前田 清也	令和 7 年度採用
子どもの学び応援 ～情報リテラシー～ 【市内全域】 (R7. 6. 1～) 教育環境整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探究・先進的な情報活用能力の強化 ・ 情報活用スキル及び学力の向上等 	 ゆあさ はるな 湯浅 春奈	令和 7 年度採用
長谷くらし応援隊 【長谷】 (R7. 6. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住希望者と地域のつながりの創出 ・ 空き家の掘り起こしやマッチング ・ 移住検討者向けのシェアハウスの企画・運営 など 	 てづか ほたる 手塚 ほたる	令和 7 年度採用

4 情報発信について

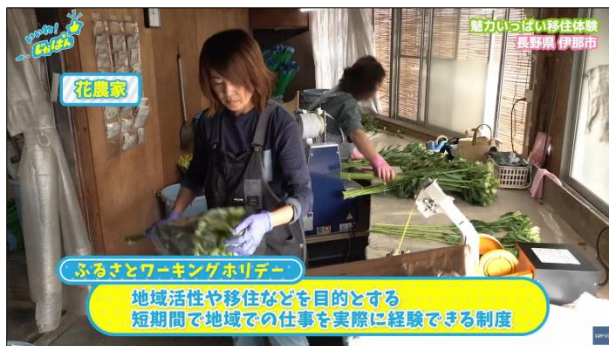
(1) プロモーション動画・テレビ番組

○プロモーション動画

【伊那市移住 PR 動画】 田舎で暮らそう ～移住の先に見えるもの～



○テレビ東京「いいね！じゃぱん」



○テレビ東京「地域にエール！まちカケル」



○TBSテレビ「がっちりマンデー!!」

“お試し移住”



○日本テレビ「世界一受けたい授業」

“人気移住地市町村ランキング”



(2) 雑誌・広告



田舎暮らしの本



moves

(3) 移住セミナー

目的：市の魅力発信及び市内で開催する移住体験ツアーへの誘導

○国・県・上伊那広域連合・民間団体等との連携



ふるさと回帰フェア（東京）等でのフェア・セミナーの様子

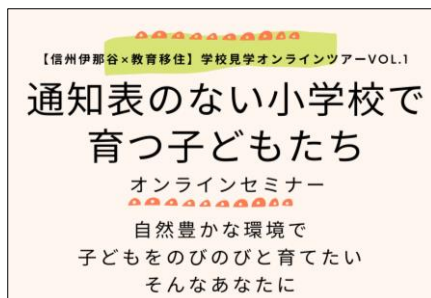
○市単独セミナー



(4) 移住体験ツアー



(5) オンライン移住セミナー・ツアー



○ 伊那市の取組が「農業白書」に掲載

(事例) オンラインでの交流、移住相談会を実施(長野県、群馬県)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、Web 会議システム等のオンラインを活用した地方と都市との交流や移住相談会が行われています。

長野県伊那市では、令和 2(2020)年 8 月に、保育園や小学校の見学等を予定していた移住希望者等に向けて、オンラインで伊那市内を巡るツアーを開催しました。第 1 回目のツアーでは、市役所の職員と小学生等が、総合学習に力を入れている小学校や、県外からの移住者を訪問し、その様子を Web 会議システムを通じてライブ中継しました。

この取組には 300 人以上の移住希望者が集まり、オンライン上でも活発な質疑応答が行われるなど好評だったことから、以降も定期開催し、令和 2(2020)年度末時点で、計 4 回のオンライン体験ツアーを行い、これまでに 6 世帯が移住しました。

また、群馬県では以前から県庁の窓口や都内で開催する移住相談イベント等を通じて、県内への移住希望者の相談に対応してきました。令和 2(2020)年度はオンラインを通じた移住相談会を 19 回開催しましたが、移住相談者が移住を検討する理由として、以前は田舎暮らしに憧れた事例が多かったものの、新型コロナウイルス感染症拡大後は、「安全・安心」を求めて、移住を検討する者が多くなっています。

県が把握している限りでは、令和 2(2020)年度末時点で、44 組 85 人が勤務先への通勤が可能な市部を中心に移住しています。



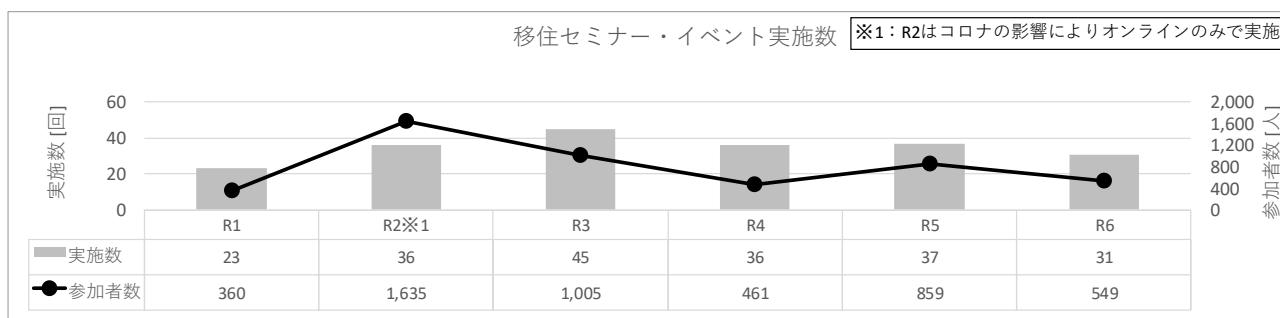
保育園等を紹介する
オンライン体験ツアー

資料：伊那市



オンライン移住相談会の様子

資料：群馬県



(6) SMOUT

【SMOUT 移住アワード 2024 3年連続 第1位!】

「SMOUT」は、(株)カヤックが運営する移住・関係人口促進のためのマッチングサービス。地域の人（自治体、事業者、個人など）が、地域に興味のある人を募集し直接スカウトすることができる「スカウト型」の機能が特徴的な情報サイト。

本市ではコロナ禍以降、地域の魅力発信や移住・定住の情報発信の柱として、このサイトを活用し、オンライン相談やセミナー、体験ツアー、地域おこし協力隊の募集など幅広く活用している。

本市を含む国内外の1,105地域が登録し、約69,000人のユーザーが利用。

移住希望者や田舎暮らし検討者等の間では、広く知られた情報サイトとなっている。

【2024年度 総合結果発表】約6万9千人のユーザーから興味を集めた人気移住地域ランキング『SMOUT 移住アワード 2024』

約1,105地域から選ばれたのは【市区町村部門】**1位 長野県伊那市**、2位 山口県萩市、3位 石川県加賀市

(株)カヤック(本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役 CEO：柳澤大輔)が、自社が運営する移住・関係人口促進のためのマッチングサービス「SMOUT」に登録する一般ユーザー約6万9千人が2024年度で興味を示したプロジェクトから、上位にランクインした30地域を『SMOUT 移住アワード 2024』として発表しました。

〈SMOUT 移住アワード 2024 (年間)〉

2024年度【市区町村部門】



2024年度【都道府県部門】



〈参考：SMOUT 移住アワード 2023 (年間)〉

【市区町村部門】




【都道府県部門】




(7) 移住定住ガイドブック

伊那市

ありきたりに
見える日常こそ、
幸せの記憶。





**長野県伊那市は
こんなところだ！**

長野県は、日本有数の観光地であり、自然豊かな土地です。伊那市は、長野県の南西部に位置し、山に囲まれた美しい風景が特徴です。伊那市は、自然と文化が共存するまちであり、移住定住の環境が整っています。

DATA

人口 28,700人
面積 280.1km²（長野県内第1位）※人口密度は長野県内第1位
市庁舎 伊那市庁舎
市役所 伊那市役所
市議会 伊那市議会
市長 伊那市市長
市議員 伊那市市議員

魅力

自然豊かな環境、美しい風景、美味しい食べ物、温かい人柄、安全なまち、子育てしやすい環境、移住定住の環境が整っています。

移住定住の環境

伊那市は、移住定住の環境が整っています。伊那市は、自然豊かな環境、美しい風景、美味しい食べ物、温かい人柄、安全なまち、子育てしやすい環境、移住定住の環境が整っています。

魅力

自然豊かな環境、美しい風景、美味しい食べ物、温かい人柄、安全なまち、子育てしやすい環境、移住定住の環境が整っています。

移住定住の環境

伊那市は、移住定住の環境が整っています。伊那市は、自然豊かな環境、美しい風景、美味しい食べ物、温かい人柄、安全なまち、子育てしやすい環境、移住定住の環境が整っています。

ミンミン、ジリジリ響の鳴く書きのほろこは、
子どもたちのエネルギーも最高潮。

夏はドキドキに満ちて

春はワクワクを探しに

自然にぬくもりが感じ、草花が華やか春は、
子どもたちの好奇心もうざります。

**私たちの
いなし**

夏はドキドキに満ちて



春はワクワクを探しに



夏はドキドキに満ちて

自然にぬくもりが感じ、草花が華やか春は、
子どもたちの好奇心もうざります。

春はワクワクを探しに

自然にぬくもりが感じ、草花が華やか春は、
子どもたちの好奇心もうざります。

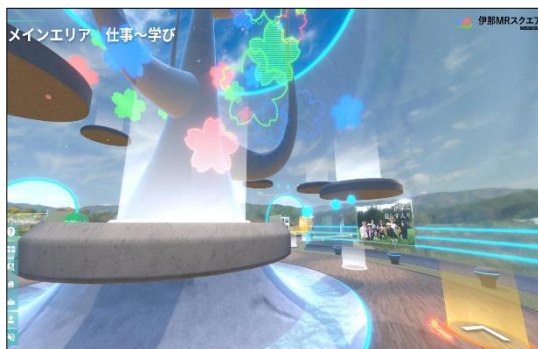


移住ガイド編集
チームメンバー

（８）伊那MRスクエア

地域資源のローカルブランディングと、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）、そしてMR（複合現実）の技術等を活用し、リアルとバーチャルを組み合わせ、移住定住に関する情報を集約したWEB上の仮想空間です。

日ごろ移住定住相談窓口で、移住希望者等から問い合わせの多い暮らしや仕事、学びや自然文化などを中心に情報を集約するとともに、テクノロジーをいかして移住希望者等に訴求力のあるみせ方としています。また、スマートフォンやパソコンなどから、いつでもどこでも手軽にアクセスできるため、欲しい時に必要な情報を得ることができます。



下記、URL からアクセスすることができます。
伊那MRスクエア <https://ina-mrsquare.jp/>



（９）伊那市版メタバース「イナの森」

メタバースが物理的な空間を超えたコミュニケーションツールである点を活かし、新たな関係人口・交流人口の創出を目指した仮想空間で、森をテーマに、伊那市らしい5つのエリアがあります。エリアごとに仕かけがあり、様々な体験をしたり、イベントを開催したりするなど、多様なシーンでの活用が期待できます。

市内の人と市外の人との交流の場としての活用や、世代や立場などを越えて、また現実ではコミュニケーションをとることが難しい方々に対して、アバターを通じての新たな交流や表現を提案する場をつくりだします。

また市民にとって身近な森や伊那の暮らしをメタバース空間上に表現することで、普段から気軽にコミュニケーションが図れる場としての認知を広げることで、市内の多様な人や団体がメタバースを通じてゆるやかにつながれる場作りを目指しています。



「イナの森」は「VRChat」のプラットフォーム上で提供されています。

※詳しくは下記特設サイトをご覧ください。「VRChat」の導入から入場までの詳細な説明があります。

伊那市版メタバース特設サイト <https://ina-brand.jp/metaverse>



(10) 地域の教科書（市内 86 区）

地域の教科書

高遠町 地区

あらまち 藤澤区 荒町



地域の紹介

自然豊かな集落で地区内には、唐州型自然保護認定の保育園、市営住宅、警察官駐在所などがあります。区内にある興船神社には、伊那市有形文化財指定の興船神社本殿、神輿があり寛永13年保科正行公が高遠藩から最上藩へ入封される際に寄進したとされる、伊那市無形民俗文化財指定の「子供駒馬行列」の祭具一式が保存されています。毎年、4月の例祭、9月には祭具の虫干し等を区民参加で行い、保存伝承に努めています。また、農産物直売所やお墓の納涼祭など、様々な活動を行っています。



第2・第3保育園

区の情報

区民の人数

60人

世帯数

28世帯

常会等の構成 / 全6班で構成

区の主な役員 / 区長、区長代理（兼会計）
衛生部長、土木部長
公民館企画、氏子総代

小学校区

高遠北小学校

中学校区

高遠中学校

JRバス 高遠駅からの距離

車で13分

最近のスーパー

ニシザワ高遠食彩館（14分）

近隣の医療機関など

長勝診療所（8分）
保科歯科医院（14分）

その他

最近のバス停は、JRバス関東高遠線藤沢・茅野線「荒町」です。

※（ ）内は地区内から車で移動した場合にかかる時間です。

～区費やその他の負担金について～

- 入区費
なし（入区届け必要）
- 区費（年額）
36,000円
- 集金方法
毎月3,000円 班長が集金します。
- その他の負担金等

区費（自治会費）とはどのような用途で使われるのですか？

区費（自治会費）は、毎年、区の総会で事業の承認を得てから

- ◆お祭りやイベントなど地域の交流を深めること。
- ◆防犯灯の設置と電氣代、消防・防災の設備整備や活動の支援、交通安全の推進など地域の安心と安全を守ること。
- ◆ゴミステーションや水路の管理など、きれいで住みよい環境づくりに関すること。
- ◆公園や花壇の整備、地元の寺社仏閣や伝統芸能の保存など、日々の生活に潤いをもたらす活動に使われています。

※区費等は区からお知らせいただいた内容を記載しております。上記に記載のない負担金が必要になる場合もありますので、入区の際には詳細をご確認ください。

伊那市の「まちづくり」は、地域の協力による様々な活動によって実現されています。

区民の主な行事など

日	主な行事	区民が参加して行う事業
4月	春祭り、新年度総会	
5月		環境整備、八十八夜祭
6月		
7月		河川草刈り、環境整備
8月		
9月		防災訓練、駒馬祭り虫干し
10月	定期総会	
11月		小橋上げ
12月		
1月	新年会	どんど焼き
2月		
3月	年度末総会	
その他		

高遠城下まつり
毎年9月第1週の土曜日に開催されるお祭りです。小学生や伝承会による「加那高遠城」の舞、高遠中学校吹奏楽部の演奏、唐州高遠鉄砲隊の砲術演習、高遠囃子や町民謡の踊りなど、見ても参加しても楽しいお祭りです。



子ども駒馬行列



興船神社

お問い合わせ、ご相談は・・・

伊那市役所
TEL：0265-78-4111(代表) FAX：0265-74-1250

移住に関するお問い合わせ

企画部地域創造課 人口増進係
E-mail：jkz@inacity.jp

伊那市 

<https://www.inacity.jp/ju/>

いろいろな手続き

伊那市役所庁舎

4階
地域創造課
移住定住のこと 空家バンク

3階
学校教育課（学路係）
小中学校の転入手続き
生涯学習課（青少年係）
学童保育の相談

1階
市民課
住民票、戸籍の届出
印鑑登録（印鑑証明）

生活環境課
ゴミの出し方
指定ゴミ袋購入券

子育て支援課
保育園の入園
児童手当

健康推進課
国民健康保険 国民年金
予防接種 各種検診
健康相談 福祉医療

伊那市上下水道料金センター 水道の開栓手続き

福祉相談課 介護保険

高遠町総合支所 長谷総合支所

住民票 戸籍の届出 印鑑登録
こみの出し方 国民健康保険
福祉医療 各種検診 健康相談
各種税証明
過疎地域特定促進補助金

伊那市地域安全安心メール
火災情報・防災情報・地域の情報・伊那市からのお知らせなどを配信しています。
お使いのパソコン、スマートフォン、携帯電話から
p-inacity@anshin174.jp にメールを送ってください。
その後返信される案内に当たって登録や情報の変更などができます。

藤澤区のごみの収集日

燃やせるごみ	資源物	燃やせないごみ	古紙類
毎週月・木曜日	毎月第1水曜日	第2・4火曜日	毎月第4水曜日

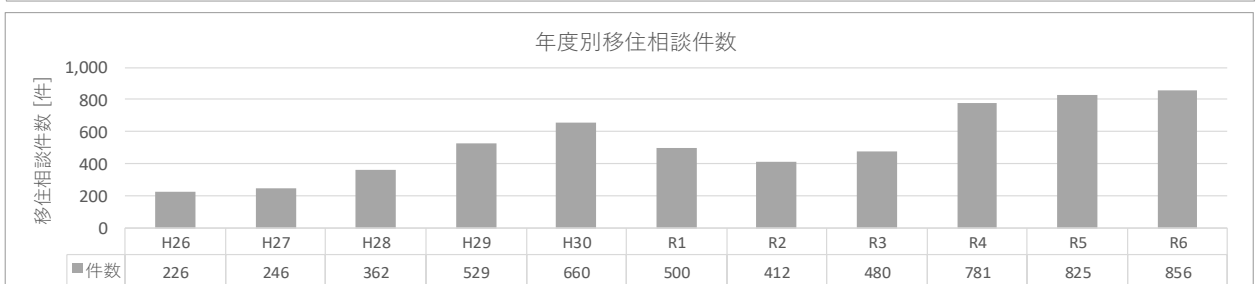
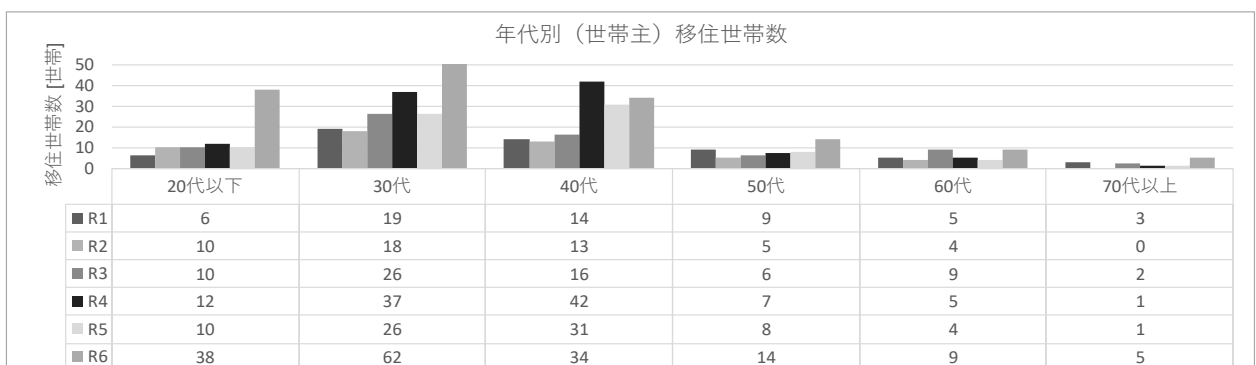
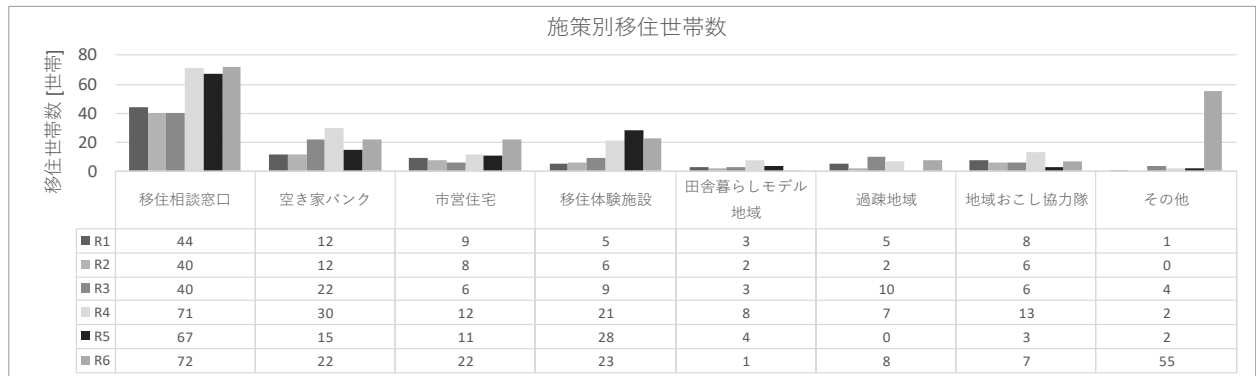
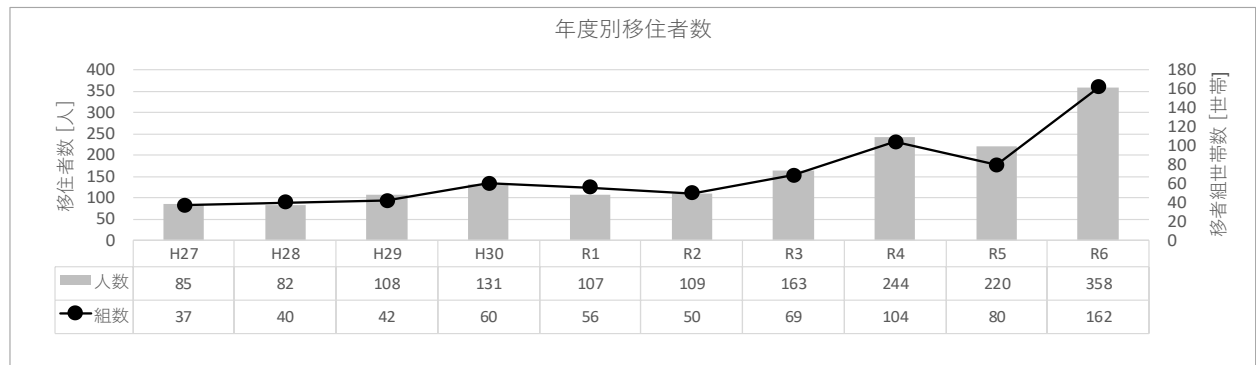
資源プラスチック 毎週金曜日

※祝祭日などで変更になっている場合もあります。ごみ・資源物収集カレンダーでご確認ください。
カレンダーはスマートフォンアプリでも見るができます。 [さんあ～る](#) [検索](#)

「指定ごみ投入チケット」については生活環境課まで
燃やせるごみ、燃やせないごみを出すには有料指定ごみ袋が必要です。このごみ袋は、チケットがないと購入できません。チケットを生活環境課の窓口でお渡しし、ごみの分別、チケットの使用法について説明いたしますので、お越しのお手続きが済みましたら、生活環境課までお越しください。

伊那市役所 1階 市民ホール（市民課前）

5 移住施策の効果



※H30までは空き家の物件見学の相談件数を加えていたが、R1から運用方法の見直しを行った。

